

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.77
2014.2

くしろ丹頂



かあさんDAY「鶴ロック」メンバー!!

C O N T E N T S

- 新年にあたり武藤組合長から職員へ訓示
釧路地区JA女性部研修会 _____ 1
- 営農計画樹立協議終了 _____ 2
- 釧路西部ジュニアホールスタインクラブ 加工体験教室
第26回かあさんDAYで交流 _____ 3
- 普及センターだより _____ 4
- 所得税法改正周知 _____ 5
- JAバンク・マイカーローンのお知らせ _____ 6
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 家畜販売市況情報 _____ 7



釧路地区JA女性部研修会

新年にあたり武藤組合長から職員へ訓示



一月六日、新年の業務はじめにあたり本所各支所において、武藤代表理事組合長から職員へ、今年一年を次の三つのことを重点に取り組むよう訓示がありました。

- 一、職務に対し受け身にならず、積極的に取り組み、自分の職務を全うする事。
- 二、常に当J Aの職員であることとを自覚し、責任ある言動をとる事。
- 三、挨拶をきちんとする。気持ちの良い挨拶から始めて行動する事。

また、「J Aの主人公は、組合員であり、お客様である事、

組合員目線で行動をとる事を頭に入れ、一年間の職務にあたって頂きたい。
そして、役職員一丸となり、組合員に信頼されるJ Aづくりに取り組んで参りましょう。」と締めくくりました。



鶴居本所

釧路地区J A女性部研修会開催

一月二十七日から二十八日の二日間にかけて、川湯観光ホテルで、平成二十五年釧路地区J A女性部研修会が開催されました。管内のJ A女性部員が集まり、J A運動への理解と参加促進、交流を深めることを目的に行なわれ、当女性部員十四名、合計八十名が参加しました。

一日目は、J A北海道厚生連 帯広厚生病院 高橋とよ子保健師により、「健康づくりは、日々の生活から」～健康・医療現場からのアドバイス～と題した講演と、「やってみませんか？簡単にできる体操・リラククス法」と題して研修が行なわれました。また、「家の光記事活用体験発表」「J A北海道女性協議会海外視察研修報告」も行なわれました。

二日目は、J Aしべちゃ女性部 大和田美智子講師による「エコクラフトかご作り」研修を行ない、二日間の研修会は大変有意義なものとなりました。



「エコクラフトかご作り」研修

営農計画樹立協議終了

経営基盤の強化・充実を!!

一月十五日から一月末にかけて、四地区で平成二十六年年度、営農計画樹立協議が行なわれました。



鶴居



幌呂



白糠

平成二十五年度は、第八期生乳安定生産対策の二年目ですが、全道的にも搾乳中止戸数の増加など、目標数量達成は厳しい状況となっております。

平成二十六年年度、酪農情勢の見通しは、日本経済の円高傾向、高齢化及び後継者不足による酪農家戸数の減少、乳牛頭数の減少、労働力不足、飼料作物の生

産性低下、T P P 交渉の展開など、日本農業にとっては厳しい環境が続くことが予想されます。

新年度におかれましても、組合員の皆様方が、経営基盤の強化・充実を目指し、中長期的展望にたった経営戦略のもと、家族総意・社員総意の上での積極的な取り組みをご期待致します。



音別

釧路西部ジュニアホルスタインクラブ 加工体験教室



おいしいソーセージが出来るかな？

十二月二十二日、釧路市音別町体験学習センター「こころみ」で、釧路西部ジュニアホルスタインクラブ（代表者 五十嵐政敏さん）主催による加工体験教室が行なわれました。

参加しました。講師の先生が子供達でもわかりやすく各行程を説明し、楽しみながらソーセージ作りを行ないました。出来上がった手作りソーセージを参加者全員で堪能し、満足感あふれる体験教室となりました。

第26回 「かあさんDAY」で交流

十二月六日、鶴居村総合センターで、女性部鶴居支部による第二十六回「かあさんDAY」が開催されました。かあさんDAYは、日頃仕事や家事で忙しい部員が年に一度交流の場として開催しているものです。会場には、部員・各関係機関の参加者三十二名



「鶴ロック」の演奏に拍手!!

が集まり、鶴居支部のフレックスミズや若手メンバー十人がバンド「鶴ロック」を結成し、鶴ロックコンサート「明日輝くために・音楽でちよつと一息!」を開催しました。ステージでは、「野に咲く花のように」や「明日があるさ」など七曲を披露し、息の合った演奏に大きな拍手が寄せられました。

コンサート終了後は、昼食会そして鶴居村社会福祉協会会々長の鶴橋忠輝氏による「警察組織と捜査一課」と題した講演などが行なわれ、有意義な交流会となりました。



講演会の様子

ほ場の透排水性を改善しましょう！

とうもろこしの

安定生産のために

1 平成25年産の

とうもろこしの問題点

昨年のおうもろこしは、地域によつては6割程度のほ場で倒伏が確認がされました。

直接的な原因は台風18号による強烈な北風で、とうもろこしが倒伏しました。

また、注視すべき要因として、とうもろこしの根張りの善し悪しがありました。

写真(1・2)で分かれるとおり根張りの良いとうもろこしだけが強風に負けず残っていたことが分



写真1 根張り良好の株

かります。

良質とうもろこしサイレージ調製のためには、倒伏の軽減をはかる必要があります。



写真2 倒伏ほ場の根張り悪い

2

根張りを阻害する硬い土層を調べ、改善策を講じる

とうもろこしの根張りを良くするために、根の伸びを阻害する硬い土層がないか、硬度計で確認しましょう。(写真3)



写真3 土壌硬度測定

図1のほ場は粘質が強く、作土もやや硬くて、降雨時には表面停滞水も懸念されていました。このような場合には、心土破碎により、水の縦浸透を促します。

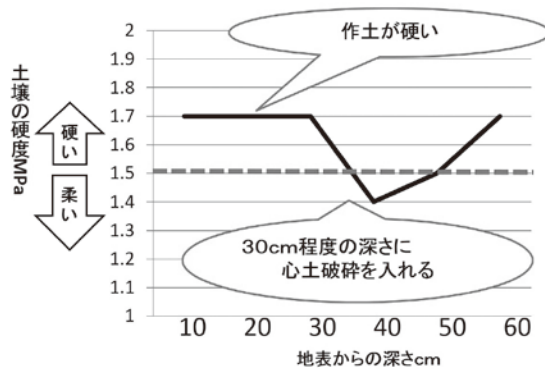


図1 倒伏ほ場の土壌硬度

(1) サブソイラで

水みちをつくる

整備済み暗きよがあれば、この方向と交差するように方向を定め、心土破碎を施工しましょう。(図2) 暗きよの無いほ場は、明きよ(側溝)ののり面を突き破り、水が逃げるようにします。

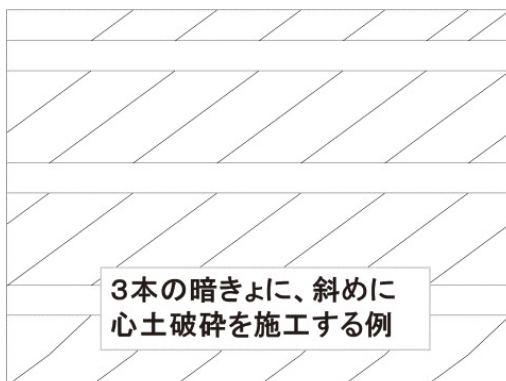


図2 サブソイラ施工方法

*土壌硬度計については、普及センターまで問い合わせください。

(2) サブソイラ施工の注意点

- ① 畑が乾燥してから施工する。
- ② 施工の深さに注意する。
- ③ 作業速度は時速3〜4キロ。ほ場の条件の悪い部分に限定して施工しましょう。



サブソイラ

～ 税務署からのお知らせ ～

平成26年1月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の金額の合計額が300万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、平成26年1月からは、対象となる方が拡大されます。

平成26年1月からの記帳・帳簿等保存制度

◎ 対象となる方

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。

※ 所得税の申告の必要のない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

◎ 記帳する内容

売り上げなどの収入金額、仕入れやその他の必要経費に関する事項を帳簿に記載します。記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額のみをまとめて記載するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

◎ 帳簿の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

【帳簿書類の保存期間】

保存が必要なもの		保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿（法定帳簿）	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿（任意帳簿）	5年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

記帳・帳簿等保存制度の詳細に関するご案内

国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）の「個人で事業を行っている方の帳簿の記載・記録の保存について」をご覧ください。

釧路税務署	釧路市幸町10丁目3番地	0154-31-5131
-------	--------------	--------------

お電話でお問い合わせの場合は、個人課税部門 記帳指導担当までお問い合わせください。

JAバンクは「はじめて」という方も
お気軽にご相談ください。

JAバンクマイカーローン

お使いみち	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車購入資金(新車・中古車・自動二輪) ●自動車購入時の諸費用等、車検・整備の費用 ●運転免許の取得費用
ご利用 いただける方	<ul style="list-style-type: none"> ●借入時満20才以上 最終償還時71才未満 ●JAが指定する保証機関の保証を受けられる方 ●年収【北海道農業信用基金協会の保証の場合】農業者の場合は150万円以上、農業者以外の場合は200万円以上 【上記以外の保証機関の場合】安定継続した年収があること ●その他JAが定める条件を満たしている方
ご融資金額	500万円以内(所要金額の範囲内)
ご融資期間	7年以内
ご返済方法	元利均等返済(ボーナス併用返済可)
担保・保証	担保不要。JA所定の保証機関の保証が必要となります。
ご融資金利	固定金利型と変動金利型のいずれかをお選びください。

JAバンクで
カーライフを
もっと楽しく!

最高
500万円

担保・
保証人は
原則不要

ゆとりの
7年返済

※ローン商品の詳しい内容につきましては、店頭にて説明書をご用意しております。
※店頭にて返済額の試算を承っております。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。



マイカーローンキャンペーン期間

平成26年2月3日(月)～6月30日(月)まで

3年以内 固定金利 2.2% (最優遇金利 1.9%)

3年超～7年以内 固定金利 2.4% (最優遇金利 2.1%)

※最優遇条件 → 借入れする方名義で当JA共済にご加入の方

理事会報告

12月臨時理事会 平成25年12月20日（金）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 定期監査（第3四半期末）報告について
4. 内部審査の結果について
5. 11月末財務状況について
6. 事業の実施処理状況について
7. JA全国監査機構期中監査の結果について

- 議案第1号 融資の承認について
 議案第2号 営農計画樹立基本方針の設定について
 議案第3号 特定組合員特別運用基準に係る対象組合員について
 議案第4号 事務リスク管理規程の制定について
 議案第5号 諸規程の一部変更について
 ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 当面の業務日程について

付議事項

1月定例理事会 平成26年1月29日（水）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 12月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 平成25年度決算見込みについて

- 議案第3号 営農振興資金の貸付について
 議案第4号 融資の承認について
 議案第5号 北海道農業信用基金協会に対する出資増口について
 議案第6号 搾乳素牛増頭対策事業要領の制定について
 議案第7号 諸規程等の一部変更について
 ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 組合員の農業に係る現況照会について
2. 当面の業務日程について

付議事項

- 議案第1号 定款第53条第2項に規定する理事の順位について
 議案第2号 JA全国監査機構期中監査の結果に対する回答について

■平成25年度		生乳生産実績（12月）			
		月計乳量 (kg)	12月前年比 (%)	累計乳量 (kg)	累計前年比 (%)
釧路丹頂農協		8,079,527.4	96.9	74,630,944.2	99.2
	（鶴居地区）	2,738,038.2	97.5	25,002,257.4	97.4
	（幌呂地区）	2,121,866.8	96.1	19,942,540.3	102.1
	（白糖地区）	1,742,482.6	93.8	16,224,023.9	95.2
	（音別地区）	1,477,139.8	101.1	13,462,122.6	103.4
管内計		43,106,003.9	96.1	400,839,056.1	99.0
	（前年度管内計）	44,875,066.7		404,783,360.9	

■平成25年度		生乳生産実績（1月）			
		月計乳量 (kg)	1月前年比 (%)	累計乳量 (kg)	累計前年比 (%)
釧路丹頂農協		8,157,468.7	96.0	82,788,412.9	98.8
	（鶴居地区）	2,744,237.4	96.7	27,746,494.8	97.4
	（幌呂地区）	2,132,440.2	94.3	22,074,980.5	101.3
	（白糖地区）	1,766,962.9	92.6	17,990,986.8	94.9
	（音別地区）	1,513,828.2	101.2	14,975,950.8	103.2
管内計		43,703,230.0	95.4	444,542,286.1	98.7
	（前年度管内計）	45,802,721.6		450,586,082.5	

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

26年2月1日現在
(単位：千円)

規格	種別	登録牛	
		上	中
育成（8～12ヶ月）		330	270
初妊		580～550	550～500
経産	2産～3産	380	350
	4産～5産	350	270

初生とく

26年2月10日現在

初生とく	規格	単価
	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	1,100円/kg
	40kg～44kg	1,000円/kg

(提供／ホクレン釧路支所)

黒毛和種

26年1月15日音更市場

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	701頭	794,850	208,950	502,910	291	1,726
	去勢	905頭	795,900	353,850	580,803	310	1,873

(提供／ホクレン帯広支所)

編集後記
EDITOR'S NOTE

□平成二十六年度の営農計画樹立協議が終了しました。日本農業をとりまく環境は、様々な要因により厳しさを増しております。経営の安定、充実に向けた取組み、「土・草・牛・人」づくりの必要性が問われ続けております。

□一年で最も寒い時期とされる一月の大寒も過ぎましたが、厳しい寒さはこれからも続きます。冬の時期、外に出れば体温はすぐに奪われます。人も牛も体温管理、室温調整等に気を付ける事が、風邪の予防などにも効果があると感じております。